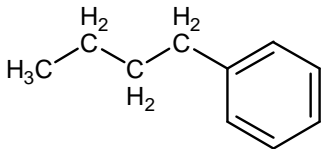


8	CAS 番号：104-51-8	物質名： <i>n</i> -ブチルベンゼン																										
化審法官報公示整理番号：3-11（ブチルベンゼン） 3-21（ <i>n</i> -アルキルベンゼン(C=3～36)） 化管法政令番号： 分子式：C <sub>10</sub> H <sub>14</sub> 構造式： 分子量：134.22																												
																												
<p>1. 物質に関する基本的事項</p> <p>本物質の水溶解度は 13.8 mg/1000g (25 )で、分配係数(1-オクタノール/水) (log Kow) は 4.26、蒸気圧は 1.13 mmHg (=150 Pa)(25 )である。生物分解性(好氣的分解)の分解率は 72～80%であり、加水分解性の基を持たない物質とされている。</p> <p>本物質の主な用途は合成中間体、液晶製造用とされ、<i>n</i>-アルキルベンゼン(C=3～36)としての平成 16 年度における製造(出荷)及び輸入量は 100,000～1,000,000t/年未満である。</p>																												
<p>2. ばく露評価</p> <p>化学物質排出把握管理促進法(化管法)第一種指定化学物質ではないため、排出量及び移動量は得られなかった。Mackay-Type Level III Fugacity Model により媒体別分配割合の予測を行った結果、大気、水域、土壌に等量排出された場合、土壌と水域に分配される割合が多い。</p> <p>水生生物に対するばく露を示す予測環境中濃度(PEC)は、公共用水域の淡水域では 0.093 μg/L 程度、海水域では 0.01 μg/L 未満程度となった。</p>																												
<p>3. 生態リスクの初期評価</p> <p>急性毒性値は、藻類では緑藻類 <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> の生長阻害における 72 時間半数影響濃度(EC<sub>50</sub>) 1,590 μg/L、甲殻類ではオオミジンコ <i>Daphnia magna</i> の遊泳阻害における 48 時間 EC<sub>50</sub> 340 μg/L、魚類ではメダカ <i>Oryzias latipes</i> の 96 時間半数致死濃度(LC<sub>50</sub>) 3,330 μg/L が信頼できる知見として得られたためアセスメント係数 100 を適用し、急性毒性値に基づく予測無影響濃度(PNEC) 3.4 μg/L が得られた。慢性毒性値は、藻類では緑藻類 <i>P. subcapitata</i> の生長阻害における 72 時間無影響濃度(NOEC) 424 μg/L、甲殻類ではオオミジンコ <i>D. magna</i> の繁殖阻害における 21 日間 NOEC 332 μg/L が信頼できる知見として得られたためアセスメント係数 100 を適用し、慢性毒性値に基づく予測無影響濃度(PNEC) 3.3 μg/L が得られた。本物質の PNEC は、甲殻類の慢性毒性値から得られた 3.3 μg/L を採用した。</p> <p>PEC/PNEC 比は淡水域で 0.03、海水域では 0.003 未満となるため、現時点では作業は必要ないと考えられる。</p>																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">有害性評価 (PNEC の根拠)</th> <th rowspan="2">アセスメント係数</th> <th rowspan="2">予測無影響濃度 PNEC (μg/L)</th> <th colspan="2">ばく露評価</th> <th rowspan="2">PEC/PNEC 比</th> <th rowspan="2">評価結果</th> </tr> <tr> <th>生物種</th> <th>急性・慢性の別</th> <th>エンドポイント</th> <th>水域</th> <th>予測環境中濃度 PEC (μg/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">甲殻類 オオミジンコ</td> <td rowspan="2">慢性</td> <td rowspan="2">NOEC 繁殖阻害</td> <td rowspan="2">100</td> <td rowspan="2">3.3</td> <td>淡水</td> <td>0.093</td> <td>0.03</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>海水</td> <td>&lt;0.01</td> <td>&lt;0.003</td> </tr> </tbody> </table>			有害性評価 (PNEC の根拠)			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC (μg/L)	ばく露評価		PEC/PNEC 比	評価結果	生物種	急性・慢性の別	エンドポイント	水域	予測環境中濃度 PEC (μg/L)	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	3.3	淡水	0.093	0.03		海水	<0.01	<0.003
有害性評価 (PNEC の根拠)			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC (μg/L)	ばく露評価			PEC/PNEC 比	評価結果																			
生物種	急性・慢性の別	エンドポイント			水域	予測環境中濃度 PEC (μg/L)																						
甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	3.3	淡水	0.093	0.03																					
					海水	<0.01	<0.003																					
<p>4. 結論</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>結論</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生態リスク</td> <td>現時点では作業は必要ないと考えられる。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				結論	判定	生態リスク	現時点では作業は必要ないと考えられる。																					
	結論	判定																										
生態リスク	現時点では作業は必要ないと考えられる。																											

[ リスクの判定 ]    : 現時点では作業は必要ない、    : 情報収集に努める必要がある、    : 詳細な評価を行う候補、 × : 現時点ではリスクの判定はできない  
(    ): 情報収集等を行う必要性は低いと考えられる、(    ): 情報収集等の必要があると考えられる。